

# 「事業名：早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター事業」 2019年度補助事業の実績・成果

早稲田大学 連携市町村：広野町

連携市町村との協定締結日：2019年1月18日

現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼総合公園管理棟

## 事業のポイント

- ・ 2050年に向けた地域再生のトリガーとなり得る取り組みとして「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ（SI構想）」の調査研究活動を通じ、福島イノベーション・コースト構想を豊富化し、促進する社会イノベーションの明確化
- ・ 地域社会の持続可能性研究における社会的ソフトづくり（熟議の場の構築）と浜通り地域の広域連携のネットワークを構築する
- ・ 対象となる自治体、地域のNPOなどの市民団体、大学の3つの連携を基本単位とする地域課題に基づくアプローチの実践

## 今年度の活動実績

### 【SI構想の3本柱の具体化】

- ① 1Fの事故遺産・記憶遺産としての利活用（1F Heritage Initiative）の検討を行った
    - 福島原発事故の記録・知識・記憶（RK&M）と教訓の未来世代への継承
    - 1F廃炉の先研究会を4回開催
    - 「中間まとめ」と地域対話の具体化へ：地域対話タスクフォース（TF）の設置
  - ② 地域アートなどの展開による新たな地域の魅力や価値の創造による交流人口の拡大と地域循環のための広域地域経営制度の形成に取り組んだ
    - ふくしま浜通り文化育成と発信事業ワーキンググループ（文化育成WG）を4回開催
    - アートとケアとの協働による福祉文化拠点の形成に着目
- ※ ①と②から第3の柱として、③ふくしま浜通り国際芸術・学術（Arts & Sciences）拠点を提案した  
→ 福島原発事故の教訓と科学技術/学術・大学のあり方、芸術と学術と協働関係の重要性に着目



## 今年度の成果

### 新「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ（新SI構想）」の新たな3本柱の提案

- ・ ふくしま広野リサーチセンターの様々な場における議論から、第2の柱と第3の柱の密接な関連性から統合→「地域アートなどの展開による新たな地域の魅力や価値の創造による、交流人口の拡大と地域循環のための広域地域経営制度の形成」（新たな第2の柱）
- ・ 1Fを抱える浜通り地域の風景（空間）に、21世紀から22世紀へと継承するArts & Sciencesの殿堂（拠点）を構築し、アートと学術との協働関係の再構築の場（拠点）を形成（新たな第3の柱）

